

## ま え が き

日本では近年渇水が頻発しており、将来においても気候変動による降水特性変化により、渇水リスクの増大が予測されている。

このため、現在の渇水への対応と、将来の渇水リスクへの対応について、その問題解決方法を検討する必要があり、外国の事例を参考にすることとした。

オーストラリアでは数年来の干ばつ状態であるため、その対応方法、将来の気候変動への対応について調査を行った。

本報告書は、在オーストラリア日本大使館川村一等書記官の協力のもと、文献による調査、現地での調査をまとめたものである。

なお、今後の調査の参考となるよう、調査時点でのオーストラリア政府の公式資料等を巻末のCD-Rに添付した。

平成 19 年 11 月

国土技術政策総合研究所河川研究部  
水資源研究室長 安田 成夫